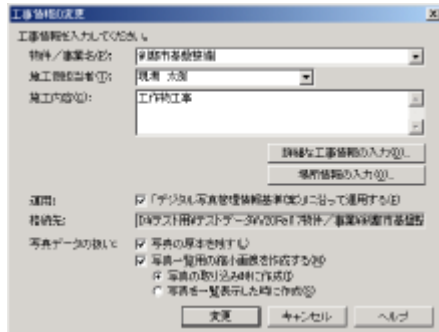


「現場名人ユーザーズガイド」 V2.0L10 (第2版) Rel.17 変更箇所一覧

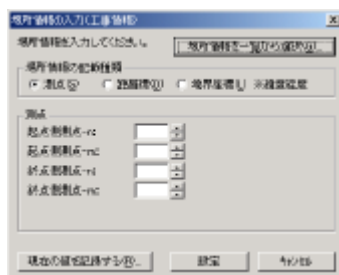
変更ページ	対応ページ	タイトル	変更点
P11	-	お問い合わせ窓口	URL、E-Mailアドレスが変更になりました。 URL: <a href="http://www.tfl.fujitsu.com">http://www.tfl.fujitsu.com</a> E-mail: <a href="mailto:meijin@tfl.fujitsu.com">meijin@tfl.fujitsu.com</a>
P24	-	工事情報を入力する	「詳細な工事情報の入力」ボタンの下に、国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領(案) 2001年8月改訂版」に対応した場所情報の入力を行う「場所情報の入力」ボタンが追加されました。
P24	P24-1	場所情報の入力(工事情報) 新規	工事情報として、場所情報を入力する画面が追加されました。
P29	-	物件/事業を開く	対象の物件/事業が、以前のV2.0 Rel.16のデータの場合、最新のバージョンに変換する必要があります。メッセージに回答して変換してください。
P66	-	物件/事業を分割する	分割対象の一覧の下に「文書出力先にコピーする」の指定が追加されました。チェックを外すことで、以前のRel.16まで必ずコピーされていた文書を、コピーしないようにすることができます。
P69	-	旧バージョンの物件/事業を変換する	国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領(案) 2001年8月改訂版」に対応したことで、データの形式が変更になりました。旧バージョンのデータとして、以前のV2.0 Rel.16のデータに対しても物件/事業の変換が行われます。
P130	-	用途に合わせて仕分け情報を出力	注意事項として「新たにMicrosoft社のExcel2002に対応しました。ただし、お使いのパソコンにプリンタが1台もインストールされていない場合、仕分け情報の表示機能は利用できません。何らかのプリンタドライバをインストールしてください。」が追加されます。
P146	-	見開きレイアウト	注意事項として「お使いのプリンタの機種によっては空ページ(空白ページ)に対して印刷を行うよう省資源の設定が可能なものがあります。写真や図形の無いページが作られている場合は、印刷時の指定に注意してください。」が追加されます
P179	-	文書に詳細情報を付ける	『文書に詳細情報を付ける』画面の「出力ファイル名の入力」ボタンの下に、発注図面および完成図面に対して場所情報の入力を補助する「場所情報の入力」、基準点情報の入力を補助する「基準点情報の入力」ボタンが追加されました。場所情報、基準点情報の項目が付加される、発注図面および完成図面の文書箱の場合のみ選択することができます。
P179	P179-1	場所情報の入力(図面) 新規	発注図面および完成図面の場所情報を入力する画面が追加されました。
P179	P179-3	基準点情報の入力 新規	発注図面および完成図面の基準点情報を入力する画面が追加されました。
P180	P180-1	『文書に詳細情報をつける』画面で設定できる項目	国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領(案)」が2001年8月に改訂され、文書を管理する項目が変更になり、『文書に詳細情報をつける』画面で設定できる項目が対応した内容に変更されました。
P180	-	『文書に詳細情報をつける』画面で設定できる項目	注意事項として「特記仕様書については、文書箱の格納位置から上位にあたる発注図面を同一の文書項目で管理できますが、「工事完成図書の電子納品要領(案)」で提出データを作成する際にはXMLデータへの情報の記述は規定されていないため、発注図面の記述に従った必須記入、ファイル名の入力などを行う必要はありません。」が追加されます。
P195	P195-1	工事完成図書の電子納品要領(案)について注意	国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領(案)」2001年8月改訂版で変更になった点については、別紙の変更内容一覧をご覧ください。
P197	-	国土交通省発注工事の物件/事業を新規作成する	4.の手順の後、『物件/事業の新規作成(工事情報の入力)』画面の[場所情報の入力]ボタンを左クリックし、測点や距離標、境界座標などを入力してください。
P201	P201-1	提出データの出力時、工事情報を設定する	6.の工事情報の確認と修正の作業の中で、「1.XML形式を選んだ場合」に表示される『提出データの出力(工事情報の設定)』画面は、「デジタル写真管理情報基準(案)」を指定した場合はデジタル写真管理情報基準(案)に規定された工事情報の画面のみが、「工事完成図書の電子納品要領(案)」を指定した場合はデジタル写真管理情報基準(案)に規定された工事情報の画面に続き、工事完成図書の電子納品要領(案)に規定された工事情報の画面が表示されます。
P211	-	電子納品の属性ファイル名規約	2001年8月に改訂された国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領(案)」については、以下のホームページを参照してみてください。 国土交通省「成果品の電子納品要領(案)・基準(案)等の改訂について」 <a href="http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha01/13/130831_.html">http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha01/13/130831_.html</a> 国土交通省「電子納品に関する情報」 <a href="http://www.nilim.go.jp/japanese/denshi/calsec.htm">http://www.nilim.go.jp/japanese/denshi/calsec.htm</a>
P268	-	CORINS2000データの取り込み	注意事項として「V2.0 Rel.16(初版)ではCORINS2000システムのバージョンのうちV4.0の形式に対応していましたが、V2.0 Rel.17(第2版)では省庁再編版であるV4.1の形式に対応するよう変更されています。CORINS2000システムのV4.0とV4.1ではデータの形式が異なるため、V4.0を取り込んだ場合に結果が異常となります。必ずV4.1を利用してください。」が追加されます。
P269	-	現場名人の工事項目とCORINS入力システムの項目との対応は次のようになっています	CORINS入力システムに対応する現場名人の工事情報のうち、以下の項目の名称が変更になりました。 施工場所コード1 住所コード 施工場所1 住所 施工場所コード2 住所コード 施工場所2 住所 工事種類 工事業種

## 操作方法

- 1) 『物件／事業一覧』画面の「ファイル」メニューから「工事情報の変更」を選びます。  
現在設定されている工事情報の値を表示する『工事情報の変更』画面が表示されます。



- 2) [場所情報の入力] ボタンを左クリックします。  
「場所情報の入力（工事情報）」画面が表示されるので、情報を入力します。

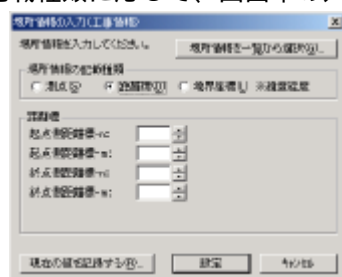


## 場所情報の記載種類

測点、距離標、境界座標（緯度経度のみ）のいずれかを選びます。

選んだ記載種類に応じて、画面中の入力項目が切り変わります。

距離標



境界座標



## 測点、距離標、境界座標の入力

「工事完成図書の電子納品要領(案)」に記載されている成果品の管理項目に従い情報を入力してください。

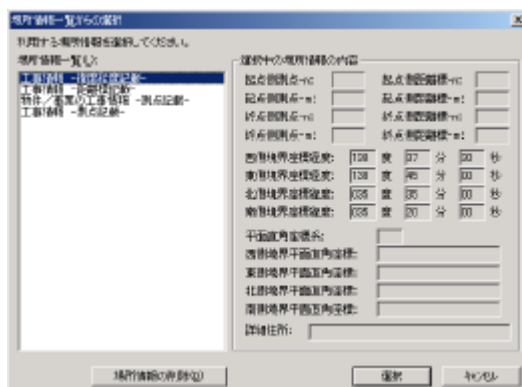
## 現在の値を記録する

工事情報に設定した場所情報を、発注図面や完成図面の情報として適用するためまた一時的に記録しておきたい場合などに左クリックします。

全ての項目を省略したり、既に同じ値が記録されている場合は記録できません。  
記録した値は[場所情報を一覧から選択]で参照できます。

## 場所情報を一覧から選択

以前に記録した場所情報の値を一覧から選び、入力値として設定します。  
左クリックで『場所情報の選択』画面が表示されるので、場所情報を選びます。



## 場所情報一覧

記録されている場所情報分を一覧で表示します。

- ・「物件 / 事業の工事情報 - x x x x -」は工事情報に設定中の値です。
- ・「工事情報 x x x x」は工事情報向けに記録された値です。
- ・上記以外のものは図面向けに記録された値です。

## 選択中の場所情報の内容

場所情報一覧で選択した場所情報の各値を表示します。変更できません。

## 場所情報の削除

場所情報一覧で選択した場所情報の記録を削除します。

削除した値を復元することはできません。

また「物件 / 事業の工事情報 - x x x x -」の情報は削除できません。

## 選択

場所情報一覧で選択した場所情報の値を入力値として設定します。

ただし図面用の値を選択した場合、「境界座標（平面直角座標）」や「詳細住所」に入力された値があっても反映はされません。

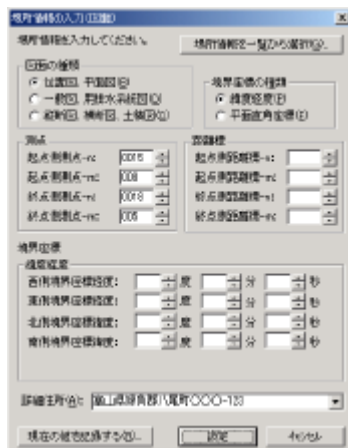
## 設定

入力した値を工事情報に設定します。

ただし『工事情報の変更』画面で [ 変更 ] を左クリックするまでは確定しません。

## 操作方法

- 1) 発注図面または完成図面の文書に対して『文書に詳細情報を付ける』画面を表示します。
- 2) [場所情報の入力] ボタンを左クリックします。  
『場所情報の入力（図面）』画面が表示されるので、情報を入力します。



### 図面の種類

「位置図、平面図」「一般図、用排水系統図」「縦断図、横断図、土積図」のいずれかを選びます。該当しない場合は「一般図、用排水系統図」を選びます。選んだ図面の種類に応じて、画面中の項目の入力の可否が決められます。

図面の種類	測点	距離標	境界座標	詳細住所
「位置図、平面図」				
「一般図、用排水系統図」				
「縦断図、横断図、土積図」			×	×

: 入力可能 × : 入力不可

### 境界座標の種類

「緯度経度」「平面直角座標」のいずれかを選びます。

選んだ境界座標の種類に応じて、画面中の「境界座標」の入力項目が変わります。

### 測点、距離標、境界座標、詳細住所の入力

「工事完成図書の電子納品要領(案)」に記載されている成果品の管理項目に従い情報を入力してください。

### 現在の値を記録する

図面に設定する場所情報を、工事情報や他の発注図面や完成図面の情報として適用するため、また一時的に記録しておきたい場合などに左クリックします。全ての項目を省略したり、既に同じ値が記録されている場合は記録できません。記録した値は[場所情報を一覧から選択]で参照できます。

### 場所情報を一覧から選択

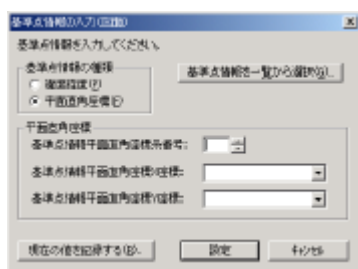
以前に記録した場所情報の値を一覧から選び、入力値として設定します。左クリックで『場所情報の選択』画面が表示されるので、場所情報を選びます。

参照 【P14-2 『場所情報の選択』画面】



## 操作方法

- 1) 発注図面または完成図面の文書に対して『文書に詳細情報を付ける』画面を表示します。
- 2) [基準点情報の入力] ボタンを左クリックします。  
『基準点情報の入力(図面)』画面が表示されるので、情報を入力します。



### 基準点情報の種類

「緯度経度」「平面直角座標」のいずれかを選びます。

選んだ基準点情報の種類に応じて、画面中の入力項目が変わります。

### 緯度経度、平面直角座標の入力

「工事完成図書の電子納品要領(案)」に記載されている成果品の管理項目に従い情報を入力してください。

### 現在の値を記録する

図面に設定する基準点情報を、他の発注図面や完成図面の情報として適用するためまた一時的に記録しておきたい場合などに左クリックします。

全ての項目を省略したり、既に同じ値が記録されている場合は記録できません。

記録した値は[基準点情報を一覧から選択]で参照できます。



各文書箱で管理可能な項目は以下の通りです。

種類	設定できる項目			
発注図面 特記仕様書 完成図面	(1) 図面名 (2) 図面ファイル名 (3) 作成者名 (4) 図面ファイル作成ソフトウェア名 (5) 図面尺度 (6) 図面番号 (7) 起点側測点-n (8) 起点側測点-m (9) 終点側測点-n (10) 終点側測点-m (11) 起点側距離標-n	(12) 起点側距離標-m (13) 終点側距離標-n (14) 終点側距離標-m (15) 西側境界座標経度 (16) 東側境界座標経度 (17) 北側境界座標緯度 (18) 南側境界座標緯度 (19) 平面直角座標系 (20) 西側境界平面直角座標 (21) 東側境界平面直角座標	(22) 北側境界平面直角座標 (23) 南側境界平面直角座標 (24) 詳細住所 (25) 基準点情報緯度 (26) 基準点情報経度 (27) 基準点情報平面直角座標系番号 (28) 基準点情報平面直角座標X座標	(29) 基準点情報平面直角座標Y座標 (30) 受注者説明文 (31) 発注者説明文 (32) 成果品保存場所 (33) 予備(測点番号) (34) 予備 (35) 予備 (36) 予備 (37) 転送前ファイル名
打合せ簿	(1) シリアル番号 (2) 打合せ簿名称 (3) 打合せ簿種類 (4) 管理区分 (5) 作成者 (6) 発行日付 (7) 受理日付 (8) 打合せ簿番号 (9) 打合せ簿オリジナルファイル名 (10) オリジナルファイル内容 (11) 提出先		(12) 打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報 (13) 請負者説明文 (14) 発注者説明文 (15) 完了日付 (16) 予備(打合せ簿情報予備) (17) 予備 (18) 予備 (19) 予備 (20) 転送前ファイル名	
施工計画	(1) シリアル番号 (2) 施工計画書名称 (3) オリジナルファイル内容 (4) 請負者説明文 (5) 施工計画書オリジナルファイル名 (6) 施工計画書オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報		(7) 発注者説明文 (8) 予備(施工計画書情報予備) (9) 予備 (10) 予備 (11) 予備 (12) 転送前ファイル名	
その他 工事履行 報告書 段階報告書	(1) シリアル番号 (2) 資料名 (3) その他資料種類 (4) 保管場所 (5) その他資料オリジナルファイル名 (6) その他資料オリジナルファイル作成ソフトウェアバージョン情報		(7) オリジナルファイル内容 (8) 請負者説明文 (9) 発注者説明文 (10) 予備 (11) 予備 (12) 予備 (13) 転送前ファイル名	
ユーザ定義	(1) 文書名 (2) 文書種別 (3) 管理区分/分類 (4) 作成者 (5) 完了日付 (6) 文書作成ソフトウェア名 (7) 文書ファイル名		(8) 受注者説明文 (9) 発注者説明文 (10) 予備1 (11) 予備2 (12) 予備3 (13) 転送前ファイル名	

国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領(案)」について、2001年の4月の発表内容から2001年の8月の改訂で変更された主な点は以下の通りです。

【注意】

ここに記載した内容は、主に出力されるXMLファイルに着眼したものです。  
 細かな点として、特に記入方法や項目概要など注意が必要な記事が多くあります。  
 必ず国土交通省より発表されている資料を読み、ご自身でご確認ください。

分類	変更種	内容
工事情報	追加	INDE_C02.DTDの格納
INDEX_C	変更	「媒体情報」が「基礎情報」に変更
	削除	「基礎情報」より「DTDバージョン」を削除
	削除	「基礎情報」より「媒体情報予備」を削除
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカー名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカー連絡先」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトメーカー用TAG」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「工事件名等」の「工事名称」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「工事件名等」の「工事種類」が「工事業種」に変更
	変更	「工事件名等」の「工種」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更、かつ複数記入可能
	変更	「工事件名等」の「工法型式」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更、かつ複数記入可能
	変更、削除	「工事件名等」の「施工場所コード1」を「住所コード」に、かつ複数記入可能
	変更、削除	「工事件名等」の「施工場所1」を「住所」に、データ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更かつ複数記入可能
	変更、削除	「工事件名等」の「施工場所コード2」を「住所コード」に、かつ複数記入可能
	変更、削除	「工事件名等」の「施工場所2」を「住所」に、データ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更かつ複数記入可能
	変更	「工事件名等」の「工事開始日」のデータ長を [ 8 10 ] に変更、形式を [ YYYYMMDD YYYY-MM-DD ] に変更
	変更	「工事件名等」の「工事終了日」のデータ長を [ 8 10 ] に変更、形式を [ YYYYMMDD YYYY-MM-DD ] に変更
	変更	「工事件名等」の「工事内容」のデータ長を [ 255 254 ] に変更
	追加	「場所情報」を追加、さらに配下に場所情報項目 (12項目) を追加
	追加	「施設情報」を追加、さらに配下に「施設名称」を追加
	変更	「発注者情報」の「発注者 - 中分類」のデータ長を [ 32 64 ] に変更
	変更	「発注者情報」の「請負者名」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	削除	「その他」が削除
削除	「その他」の「発注者備考」を削除	
削除	「その他」の「請負者備考」を削除	
追加	「予備」を追加、かつ複数記入可能	

分類	変更種	内容
発注図面 DRAWINGS	追加	DRAW02.DTDの格納
	削除	「基礎情報」を削除
	削除	「基礎情報」より「DTDバージョン」を削除
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ連絡先」のデータ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェアメーカ用TAG」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	追加	「図面情報」の「図面ファイル名」の図面種類の一覧が追加
	変更	「図面情報」の「図面ファイル作成ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	削除	「図面情報」の「測点番号」を削除
	追加	「図面情報」に「場所情報」を追加、さらに場所情報項目 (18項目) を追加
	追加	「図面情報」に「基準点情報」を追加、さらに基準点情報項目 (5項目) を追加
	変更	「図面情報」の「請負者説明文」のデータ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更
	変更	「図面情報」の「発注者説明文」のデータ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更
	変更	「図面情報」の「成果品保管場所」の出現位置を「図面情報」「その他」の「予備」の前に移動
変更、削除	「図面情報」の「予備1」「予備2」「予備3」を「予備」に、データ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更、かつ複数記入可能	
特記仕様書	変更	特記仕様書ファイル名の命名規約で、ファイルの番号を [ ~99 Z9 ] に変更
打合せ簿 MEET	追加	MEET02.DTDの格納
	削除	「媒体情報」が削除
	削除	「媒体情報」より「DTDバージョン」を削除
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ連絡先」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェアメーカ用TAG」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	削除	「打合せ簿情報」の「打合せ簿情報予備」を削除
	変更	「打合せ簿情報」の「発行日付」のデータ長を [ 8 10 ] に変更、形式を [ YYYYMMDD YYYY-MM-DD ] に変更
	変更	「打合せ簿情報」の「受理日付」のデータ長を [ 8 10 ] に変更、形式を [ YYYYMMDD YYYY-MM-DD ] に変更
	変更	「打合せ簿情報」の「完了日付」のデータ長を [ 8 10 ] に変更、形式を [ YYYYMMDD YYYY-MM-DD ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「打合せ簿オリジナルファイル名」の命名規約で関連打合せ簿ファイル内の連番を [ ~99 ~Z9 ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「オリジナルファイル内容」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「その他」の「請負者説明文」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
変更	「その他」の「発注者説明文」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更	
変更、削除	「その他」の「予備1」「予備2」「予備3」を「予備」に、データ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更、かつ複数記入可能	

分類	変更種	内容
施工計画書 PLAN	追加	PLAN02.DTDの格納
	削除	「媒体情報」が削除
	削除	「媒体情報」より「DTDバージョン」を削除
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ連絡先」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェアメーカ用TAG」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	削除	「施工計画書情報」の「施工計画書情報予備」を削除
	変更	「オリジナルファイル情報」の「施工計画書オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「施工計画書オリジナルファイル名」の命名規約で関連施工計画書ファイル内の連番を [ ~99 ~29 ] に変更、またファイル番号を [ ~99 ~29 ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「オリジナルファイル内容」のデータ長を [ 127(半角) 127 (全角) ] に変更
	追加	「施工計画書情報」に「その他」を追加
	変更	「その他」の「請負者説明文」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「その他」の「発注者説明文」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更、削除	「その他」の「予備1」「予備2」「予備3」を「予備」に、データ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更、かつ複数記入可能
完成図面 DRAWINGF	追加	DRAW02.DTDの格納
	削除	「基礎情報」を削除
	削除	「基礎情報」より「DTDバージョン」を削除
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカ連絡先」のデータ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェアメーカ用TAG」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	追加	「図面情報」の「図面ファイル名」の図面種類の一覧が追加
	変更	「図面情報」の「図面ファイル作成ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	削除	「図面情報」の「測点番号」を削除
	追加	「図面情報」に「場所情報」を追加、さらに場所情報項目 (18項目) を追加
	追加	「図面情報」に「基準点情報」を追加、さらに基準点情報項目 (5項目) を追加
	変更	「図面情報」の「請負者説明文」のデータ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更
	変更	「図面情報」の「発注者説明文」のデータ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更
	変更	「図面情報」の「成果品保管場所」の出現位置を「図面情報」の「その他」の「予備」の前に移動
	変更、削除	「図面情報」の「予備1」「予備2」「予備3」を「予備」に、データ長を [ 255 256 (全角128) ] に変更、かつ複数記入可能

分類	変更種	内容
その他 OTHR	追加	OTHR02.DTDの格納
	削除	「媒体情報」を削除
	削除	「媒体情報」より「DTDバージョン」を削除
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェア名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカー名」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「メーカー連絡先」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「ソフトウェア情報」の「ソフトウェアメーカー用TAG」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」が[0回以上複数出現 1回以上複数出現]に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「その他資料ファイル作成ソフトバージョン情報」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「その他資料オリジナルファイル名」の命名規約で関連工事履行報告書ファイル内の連番を [ ~99 ~29 ] に変更、またファイル番号を [ ~99 ~29 ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「その他資料オリジナルファイル名」の命名規約で関連段階確認書ファイル内の連番を [ ~99 ~29 ] に変更、またファイル番号を [ ~99 ~29 ] に変更
	変更	「オリジナルファイル情報」の「オリジナルファイル内容」のデータ長を [ 127 128 (全角64) ] に変更
	変更	「その他」の「請負者説明文」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
	変更	「その他」の「発注者説明文」のデータ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更
追加、削除	「その他」の「予備1」「予備2」「予備3」を「予備」に、データ長を [ 255 254 (全角127) ] に変更、かつ複数記入可能	
共通	追加	使用文字の「半角数字」に「.」（小数点）を使用できる
	追加	使用文字の「XMLの予約文字」は実態参照を用いることで使用できる

## 操作方法

- 1) 提出データの出力を行い『提出データの出力（データ形式の設定）』画面を表示します。  
「公共発注工事」より下記のいずれかを選びます。
  - A. 「デジタル写真管理上方基準(案)準拠 [XML形式]」
  - B. 「工事完成図書の電子納品要領(案)準拠 [XML形式]」
- 2) [次へ]を左クリックし『提出データの出力（出力範囲を選択）』画面を表示します。  
出力範囲を選択します。
- 3) [次へ]を左クリックし『提出データの出力（デジタル写真管理情報基準(案) - 工事情報の設定』画面を表示します。  
\*の付いている項目は必ず入力するなど、必要な情報を入力してください。

提出データの出力（デジタル写真管理情報基準(案)-工事情報の設定）

提出データの工事情報の確認と変更を行ってください。 \*の付いている項目は必ず入力してください。

* 発注年度:	2007	(YYYY)	* 発注者一次分類:	横浜市建設局
* 工事番号:	12345678		* 発注者二分分類:	築地社
* 発注者三分分類:			* 発注者三分分類:	花巻市建設局
* 工事番号:	123456789		* 発注者コード:	7286638
* 工事開始日:	2008/01	(YYYYMMDD)	* 請負者名:	花巻市建設局
* 工事終了日:	2007/03	(YYYYMMDD)	* 請負者コード:	867894321
* 発注者コード:				
* 請負者コード:				

「デジタル写真管理情報基準(案)」と「工事完成図書の電子納品要領(案)」の違いによる注意点

※「デジタル写真管理情報基準(案)」では「R」/「R」/「R」の半角大文字は使用禁止です。  
 ※「工事完成図書の電子納品要領(案)」では「R」/「R」/「R」の半角大文字は入力できません。半角大文字で入力してください。  
 ※「工事完成図書の電子納品要領(案)」の「R」/「R」/「R」は「R」/「R」/「R」の半角大文字で入力してください。また、「工事開始日」と「工事終了日」は、(YYYY-MM-DD)の10桁の形式で入力してください。

変更内容が即時に画面に反映される。 (R)

[次へ] [キャンセル] [ヘルプ]

## 各項目の入力

「デジタル写真管理情報基準(案)」および「工事完成図書の電子納品要領(案)」に記載されている成果品の管理項目に従い情報を入力してください。

## 【注意】

1) でB.を選んだ場合は、「デジタル写真管理情報基準(案)」の工事情報と「工事完成図書の電子納品要領(案)」の工事情報を共通して入力します。この場合、より制限の多い「デジタル写真管理上方基準(案)」に準拠した入力とチェックが行われますので、ご注意ください。

4) P201-1の1) でB. を選んだ場合のみ、[次へ] を左クリックすると『提出データの出力 (工事完成図書の電子納品要領(案) - 工事情報の設定)』画面が表示されます。

「デジタル写真管理情報基準(案)」と共通でない工事情報について入力してください。

### 各項目の入力

「工事完成図書の電子納品要領(案)」に記載されている成果品の管理項目に従い情報を入力してください。

### 工種、工法型式、住所コード、住所、予備の入力

複数の入力が可能です。[追加][更新][削除]ボタンで入力内容の編集が行えます。

[追加] ボタンを左クリックで、ボタン位置の項目に対して項目内容を新たに追加入力します。入力が省略された場合、追加は行われません。

[更新] ボタンを左クリックで、ボタン位置の項目リストで選択中の項目内容を編集します。入力が省略された場合は内容が削除されます。

[削除] ボタンを左クリックで、ボタン位置の項目リストで選択中の項目内容の削除確認メッセージが表示されます。

### 戻る

現在入力済の値を保持したまま、3) の画面に戻ります。